



妹ショートストーリー vol.5

フルカラー  
コミック  
88 ページ

これやばいかも  
んっ...

あんっんっ

おす

あーすい  
頼むから  
みないで

尻  
IP

ゆうき、あんたゲームばっか  
やってないでちゃんと  
試験勉強しなさいよ！

まったく。  
母さんに心配かけてんじゃないよ。  
今度ゲームやったら買取に  
だすからね！

ほんと腹立つわー

まあまあアキちゃん  
ゆうだってちゃんと  
分かってるわよー

母さんは甘いのよ！  
こいつこの前も夜中に隠れて  
ゲームやってたんだから。



ゆうきもゲームはほどほどにね。  
そうだ今夜はカレーにしましょ。  
お母さんちよつと買い物行ってくるから  
二人で仲良くしてるのよ。

.....

…いつてらっしやい。  
お母さんアイスもついでに  
買ってきて。

はいはい。



ねえちゃん  
さっきのあれはどういうつもり？  
僕ちゃんと勉強してるの知ってるよね？

んあつ  
だってゆうくん最近ずっと  
勉強ばかりで  
全然かまってくれないんだもん

なるほどね。  
だからって母さんの前で  
あんなこと言ったら余計に  
心配するじゃないの？

ごめんなさいっ  
そんなつもりじゃなかったの

お姉ちゃんのこと嫌いになった！？  
ごめんねっもうあんな事しないから  
嫌いにならないで

大丈夫だよお姉ちゃん。  
嫌いになんてならないから。

大好きゆうくん

お姉

お姉

お姉

姉は僕のが大好きで  
仕方ないらしい。  
小さい頃から姉は僕と二人になると  
甘々になる。  
それがこじらせて今では  
こんな関係になっている。

ほら今エッチしてるよ。  
お姉ちゃんの中に僕のお〇んちん  
入ってるよ。うれしい？

ふえくん嬉しいよお  
ゆうくん大好きだよ

最近かまってあげられなかったから  
今日は色々サービスしておこう。  
2こも離れてるのに...  
まったくどっちが年上なのやら。

おん

ん

おん

ん

おん

おん

おん

おん

おん

おん

ん

はま  
はま

ゆうくん、気持ちいい？  
お姉ちゃんの中気持ちいい？  
いつもみたいにキューってする？

気持ちいいよ  
キューってしてして  
おちんちんキューってして

ふふふ  
ゆうくんこれ好きだよ  
いくよ

お  
♡

ん  
ん  
♡

ん  
♡

く  
は  
ち  
や  
め  
♡

キ  
ウ  
ウ  
♡

キ  
ウ  
♡

お姉ちゃんのおそこはとても締めがいい  
いわゆる名器というやつだろう。  
最初の頃はあまりのきつさに  
すぐいってしまってた。  
今ではしばらく持ちこたえられるように  
なったのだがそれでもやばい…。

ゆうくんのお〇んぽ  
大きくなってる。♡

おねえちゃんの中  
気持ちいいから…んっ

もっとキュッとして

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

♡

はあ

はあはあ  
ゆうくん今日はお中に出してくれよな？  
ずっと我慢してたんだからいいよね？

はあ

ゆうくんのあついの  
お姉ちゃんの中に  
いっぱい出してほしいの

ん♡

はあ

はあ

いいよ♡  
いっぱいぎゅっぎゅっしてあげる♡  
んっんっ♡

最近禁欲してたから  
もちろんだしたのはやまやまだが  
妊娠したらどうにもならない。  
ここは理性で乗り越えたいところだ

ねえ、ちゃんと聞いてる？  
いつも外に出すんだから。  
中でイっても大丈夫だって。

そんな簡単に  
妊娠なんか  
しないから。

いやいやいや...  
おねえちゃんさすがに  
中はまずいって。

ぽん  
ぽん  
ぽん  
ぽん  
ぽん  
ぽん

いいよっいいっいいいよっ！  
中でっんあっ  
中を出してー！

もちろんしっかりと  
そとにだします！

母さんも戻ってくるし  
そろそろいくよっ！

おん  
おん  
おん  
おん



おはよーゆうくん。  
昨日は夜中まで勉強してたじゃない。  
偉いなー。お姉ちゃん誇らしいよ。

今夜はお姉ちゃんが一緒に  
勉強手伝ってやるよー。  
私もやることいっぱいだけど  
可愛い弟のためだもんない。  
しゃーないしゃーない。

これで母さんも  
一安心だねー。

あらあら急に  
仲良くなって…。  
母さん嬉しいわ。

中だし後  
優劣が逆転してしまい、僕は勉強の後  
集に4日お姉ちゃんの相手をすることになった。  
別に嫌じゃないし、気持ちいいから  
全然いいんだけど、試験には無事落ちた。

おしまい



.....

あー

が  
き  
ゃ

あー、えーと...

わざとじゃないっでば!

……また？

私この前  
注意したよね？

すすまん……。

誰もいないと思って……。

決してわざとじゃないんだけど  
俺は工口い場面によく出くわす。  
家の中では姉や妹の着替え中だったり  
街では満員電車の中で周り女子だらけで  
ギャウギャウに胸やお尻を押し付けられたり。  
オナーのネタには困らないくらいだ。

もう！お兄ちゃん  
絶対わざとでしょ！  
いっつも私が  
裸の時に限って…

この変態！

ち、ちがうって  
ほんとに  
わざとじゃ…。

ここは別に関係ないって…。  
ってここ床すべるから  
気を付けた方がいいぞ…。

嘘つけっ！  
じゃあなんでチ○コ  
ビンビンなのよー！

はあー？  
何話すり替えようとしてんのよ！

きやっ

あ、ほらっ

だからあぶないって…。

ババ

ズルッ





うう…。  
いたたたたー！

大丈夫か？

うん…。



よかった。

ちよこっ！

スッパ♡

ヌル♡

スッパ♡

ヌル♡

だから言ったじゃん。

うん。

どろくろく「ヌル」なぞ何入れてるのよー！！

わーっ

どうしたのー？ 大声出してー！

やばっ母さん  
こっち来ちゃっつかも

えっ？

つかまってー！

うんうん

あんたたち  
大丈夫なのー？

ケンカしちゃ  
だめよー

は、はい。

このまま風呂場へ...

なんで入れながらなのよっ  
絶対わざとでしょっ！？

わ、わざとじゃなっつてっ

てかお母さん来ないから  
早くおろしてー！



そつとだよ...  
そつとね。

ああ

さっき転んだ時  
お尻打って痛いんだから  
ゆっくり下ろしてね...

分かってるって

おれも昨日筋トレしたから  
腰が痛いんだよね...



もー!早く  
ぬいてよー!!

お兄ちゃんに  
中で出されたー!

ごめんてー  
わざとじゃないってばり

うそつけ!

お尻  
お尻!!

もっ!!

もーいいから  
おにいちゃんでてってー!

お尻…。  
痛いのか?

そっぴよー!

…痛そうだな…。

あんたが悪いん  
でしようがー!!

もー…。

お詫びに  
背中流すよ?

いいー!!自分でやるから  
早くでてってー!!

そんないいよ  
言われてもなあ…。  
なんだか申し訳ない…。

あつそっぴだー!





これはもうがまんできない。  
ち○こをいれたい。  
妹のま○こにチン「」をいれたい。



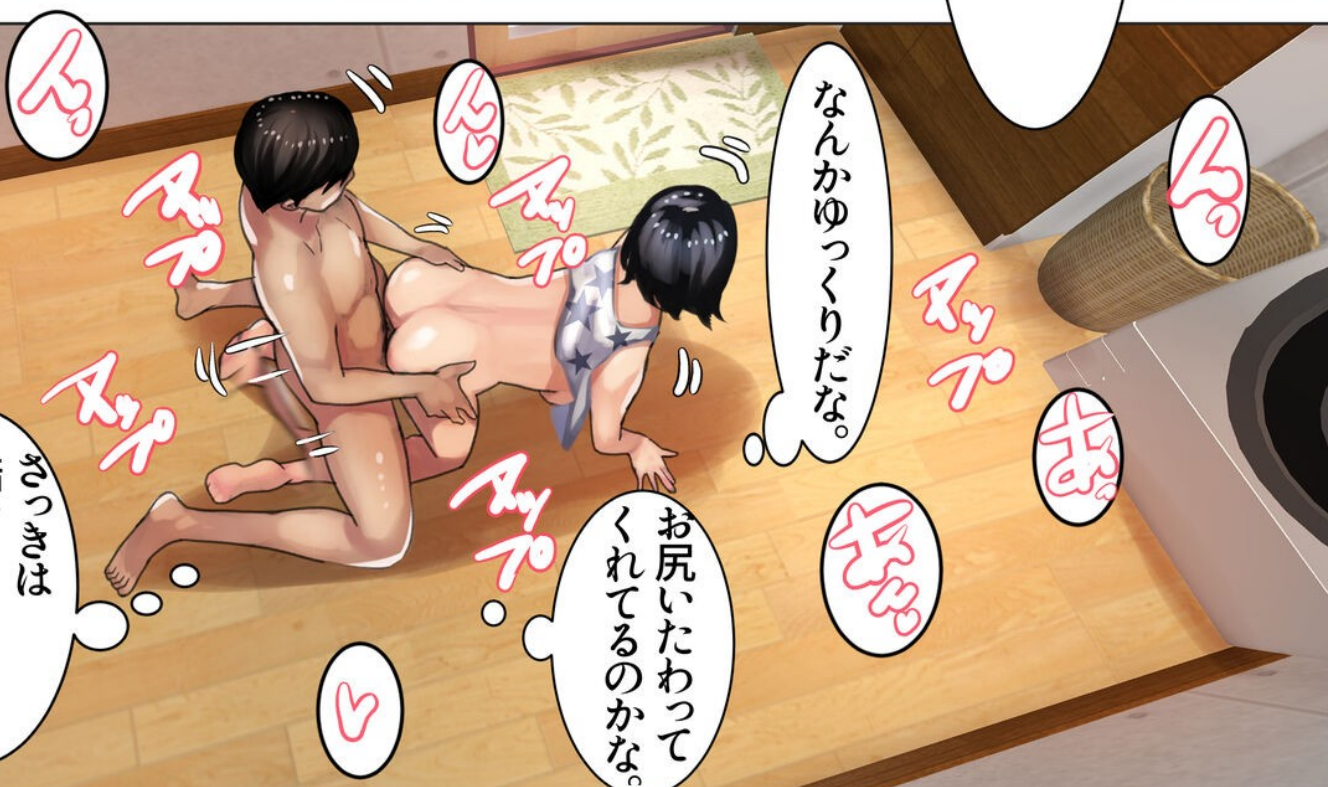
締め付けがすごい。  
とんとん飲み込まれていくっ

あつぎこ  
はいつてくるっんっ



お尻痛いって言うてたからな...。  
気持よくなつて少しでも痛みを  
軽くできればいいんだけど...

なんかゆっくりだな。



お尻いたわつて  
くれるのかな。

あつぎは  
酷いこと  
言っちゃったかな



こっちの体制の方が  
お尻に優しかったりするかな？  
あんまり試したことはないけど...

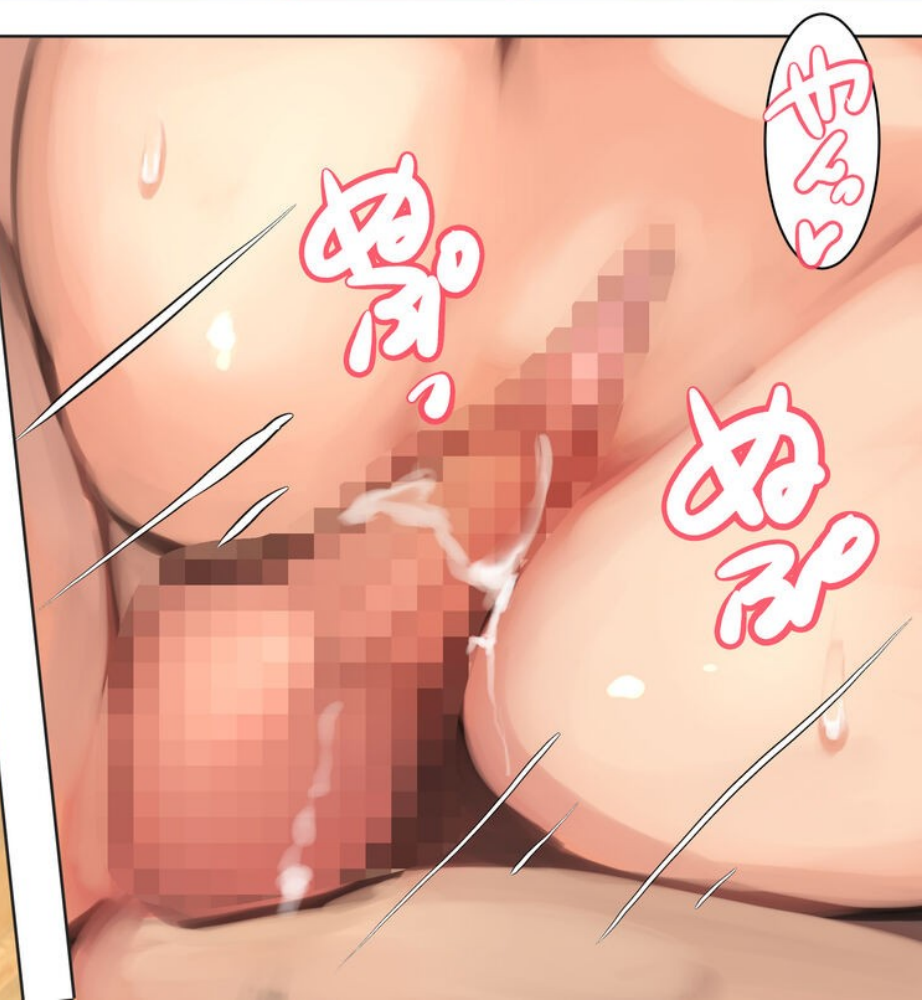
いまいちよく分からないし  
慣れてないから良さが  
分からない... やっぱあれだな。



ちよつとまた体勢  
変えるぞ...  
お尻大丈夫か？

う、うん。

これ気持よかったのに...



やっほいこれだよな。  
気持ちいいいいいい！  
明日も妹がお風呂入る  
タイミンクス...



この後二人で  
お風呂に入って  
またした。





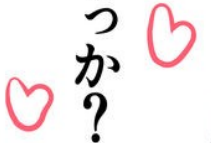
.....

あー

あー

あー、えーと...

一緒に入るっか？



入るー



最近では一緒に風呂に入るのが  
当たり前で、寝る前も  
親がいない時も  
エッチしまくる日々です。

ほら、お兄ちゃん早く

えー!?

今、お兄ちゃん?

お兄ちゃんお兄ちゃん

俺と妹はつい最近エッチをする仲になった。  
なんとというかお互い発情するタイミングがバッチリと合ってしまったらしい…。

スルッ

お兄ちゃん

# 兄妹でもいいじゃない

さすがに今はやばくないか?

大丈夫だって、みんなテレビに夢中だしほらはやくー

毎日3、4回はやってるかも  
しれない。今日もすでに朝  
出かける前に2回した。  
とにかく今は二人とも  
やることしか頭にない。

わ?

お兄ちゃん







だって...んっ  
でちゃうんだもんっ

あんな声出すなよ...

んっ

アッ

アッ

ん

んっ



おい。  
ビール持ってきてくれー

は、はーいっ

アッ



このままどうぞ。

これだめだっ  
てお兄ちゃんっ

もー絶対バレちゃうよお

何してんだ俺は？  
これはさすがにやりすぎな  
気がするが...。スモ...

んっ

アッ

アッ

アッ

んっ

んっ

んっ



はいパパ。

おすまんな。

あんっんっ

これやばいかも  
んっ…

ちんちん

あーすげーこれっ  
頼むから誰もこっち  
みないでくれよー…



ん

ん



パパの前で変な声  
出しちゃったじゃないっ

仕方ないだろっ  
気持ち良すぎて  
腰が動くんだからっ

それより  
俺もう  
イキそうっ

なんか今日は久しぶりに  
母さんと楽しみたい  
なってきたな。

ん

ん

ん

ん

ん



もう、お兄ちゃんたら  
タイミング考えてよねっ

いやあすまん  
がまんできなくてつい...

そのまま部屋に戻ってすれば  
いいものを俺と妹はわざわざ  
元の台所でエッチを再開した。

あ

あ

あ

10キョロ

アッ

ん

あ

アッ

あ

でもなんか  
いつもより  
ドキドキしたね。

ほんとだよな。  
いつもより  
締めりが良かったし。

アッ

アッ

あ

バカっ

えっもう!?!  
早くない!?!

だからいつもより  
きつきつなんだってば

てか俺もう  
イキそうっ

アッ

10

♡

10

あ

10

アッ

あ

あ



それから俺たちのエッチは  
さらに大胆になっていった。  
家の駐車場や庭でもした。  
見られるかもしれないドキドキ感が  
快感へと変わっていった…。

最近のお気に入り入りはこじ。  
道行く人を見下ろしながら  
後ろからつくのが  
何とも言えない興奮を覚えた。

おにいちゃん…んっ  
ダメだって…。

人通り多くなってきたから  
恥ずかしいよお…。

そんなこと言って  
すごい締めまりだぞっ

あ

110%

あ

110%

あ

ん

110%

110%

おはん

おはん

110%

110%

110%



お尻ばかり見ていたので  
気づかなかったが、妹の言う通り  
祝日ということもあって  
人通りが多くなっていた。

さすがにこれはまずいか…。  
実家だし近所の人に  
ばれたら終わりだ。

中に入るぞ。  
思ったより人が多くて  
びっくりだわ。

でしょ…んっ  
さつきから何度か  
チラ見されてるんだからねっ

それはまずいな。  
気を付けないと…。



それでも窓は全開で  
下手すれば周りの家から  
見える場所でやった。

毎日バカみたいにいじっ  
してるから、ちよつと  
おかしくなってるのかも  
しれない。

いいよ  
お兄ちゃんの  
中に出して♡

イキそう







ある日、何年も思い描いてたことを  
実行すべく、俺は妹に土下座して  
チ○コを入れさせてくれと頼んでみた。  
我慢できなかつた。  
もう一日5日のオナニーでは俺の性欲は  
抑えきれなくなっていた。

え!?

頼む!!

しかし俺はやらなかつたことを  
後悔するのが嫌だつた。  
妹としたい…。  
これだけは死ぬ前に後悔したくなかつた。

妹に土下座して  
頼んでみた

ある種かけだつた。  
これを親にチクられたら明日から  
どんな顔してこの家で生きていけば  
いいのかわからない。

えっ…えっ…

お兄ちゃん…?

ついに言ってしまった…。  
実の妹に対して俺は何を  
言ってるんだ…。  
あー最悪だ。この性欲のせいで  
親にチクられて家を追い出されて  
みじめな人生を送るんだ…。

土下座から顔を上げて妹の顔を  
見てみると、何とも言えない表情を  
していた。

そりゃそうだ。  
実の兄にチ○コをなんて考えただけで  
おぞましい。  
いつも俺のことを慕ってくれた妹に  
なんてことを言ってしまったんだ。

激しく後悔した。  
戻れるなら5分前に戻してくれ！  
いてもたってもいられなくなった俺は  
その場を立ち去ろうとした。



.....

す

す

すまなかつた...すまなかつた...

ほんとにすまなかつた！  
頭がどうかしてたんだ！  
だから父さんと母さんにはだまっ...

もじもじ

って、はっ！？  
今なんて！？  
何て言ったの！？

もじ

俺の耳がおかしくなったのか！？  
たしか今スマタって言わなかったか？  
刺股の聞き違いか？  
刺股で刺さうってか？  
さすがに刺されるのは勘弁して欲しい...



いったい何がどうなった？  
とんでもないミラクルが  
起こったことだけ理解した。

もい

しかもスマタならって…。  
妹の口からスマタってワードが出てくるとこ  
びびった。  
普段分からなかったが、一応こういっての  
興味があるんだな…。

入れるのはだめだけど  
スマタならオッケーなのか。  
少し残念と思ったのは贅沢すぎる。  
さっきの地獄のような状態から  
まさかこういう展開になろうなんて  
まったく予想してなかった。

もい

とにかく妹の決心が揺らぐ前に  
俺は早速スポンを下ろして  
後ろから妹の腰に手をまわし  
ガチガチに硬くなったチ○コを  
密着させた。



じゃじゃああ...

いぐぞ...

♡♡♡♡

ドキ

ドキ

ドキ

ドキ

ドキ

ドキ

あは、パンツを下げてもらって  
いいかな...

.....

こいつこんなに細かったのが  
スポーツやってるから引き締まってるのも  
あるんだろっけど。  
あとシャンプーのいい香りが余計に  
興奮させる。







はあはあ…。呼吸を整えろっ…。



ガッガッ



ガッ



ガッ

ガッ

大丈夫。大丈夫だ…。俺がたった一撃でやられるわけはない

毎日キツキツオナホで鍛えた



はあはあ…。太腿とオ○ン○の圧迫で何もなくなってもイってしまいたいっ

刺激しないように。ゆっくり深呼吸しながら抜いていっ



あ



…おごご…ちゃんっ…。

……。

…ごいよ…。  
だしても…ごいよ…。

その言葉に完全に救われた気がした。  
そして一気に全身の力がチ〇〇に集中した。

待って……。  
気持ち良すぎて…はあはあ…  
今にも爆発しそう…。





すすまん。  
我慢できんかった…。

う、ううん。大丈夫…。

お兄ちゃんのお〇んちん  
まだピクピクいつてる。  
アソコにあたって…んっ



はあ  
ピク

はあ  
ピク

はあ

アソコ

ピク

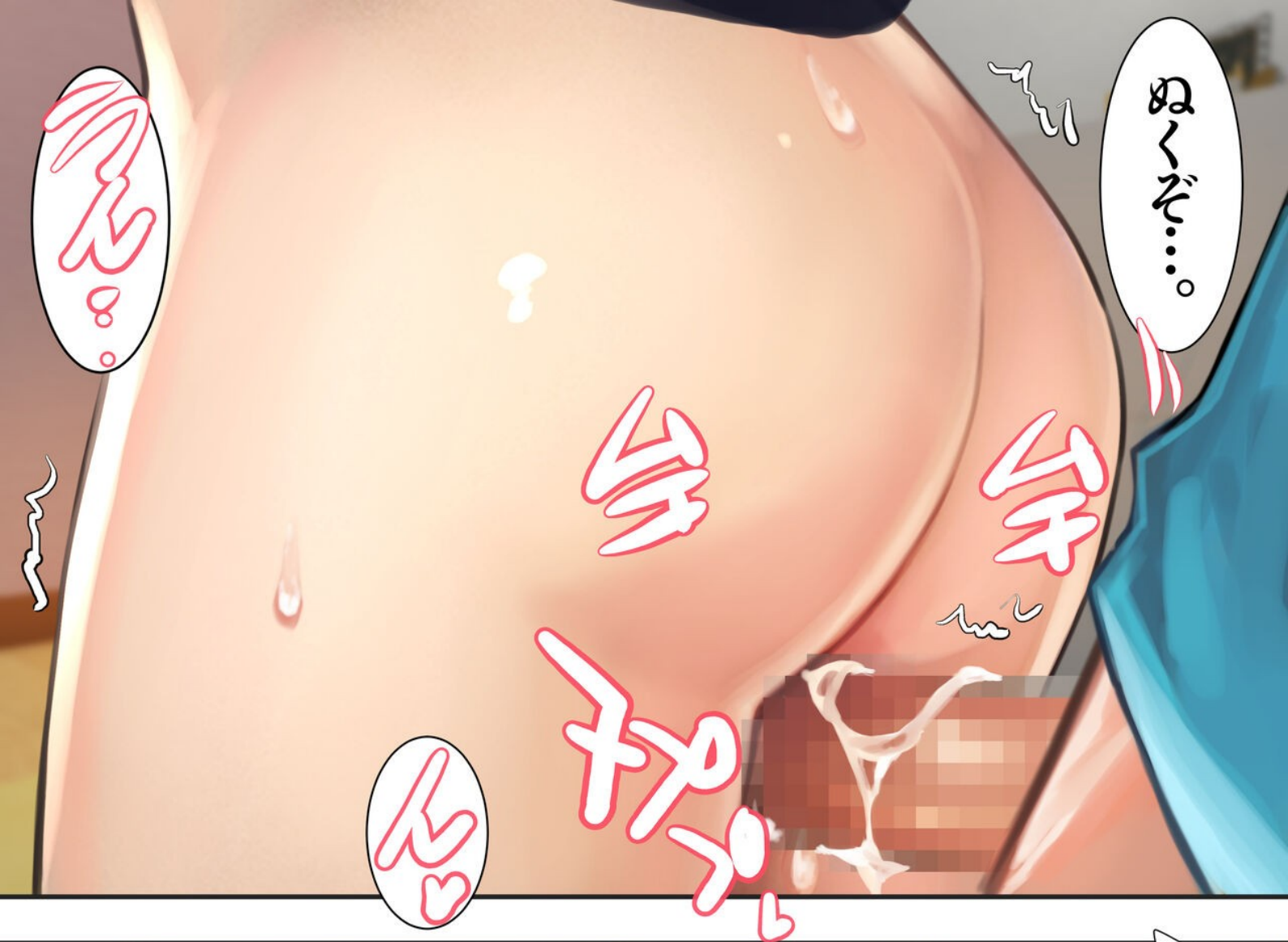
ピク

ピク

んっ

んっ





まさかの「突きでイッてしまった俺は色んな意味で  
申し訳なく、恥ずかしい気持ちでいっぱいだった…。

あ、ありがとう…。  
なんていうか…すごく

気持ちよかった…

う、うん…。

しかし妹の言葉にまた耳を疑った…!!

べ、別にスマタくらいなら  
いつでもやってあげるわよ…。

ええ!!

もい

もい

もい

もい

いっいんすかー!?!

マジすかー!?!

やっぱだめー!!

はいだめー!!

いじめんなら×10

ミラクルに次ぐミラクルが起きて  
俺は人生の何かを学んだ気がした。  
その後、妹が出かけた後  
俺は気を静めるためにオナーしまくった。  
そう…。

明日から始まるハッピーライフに備えて♡

おしまい♡

俺は見方目はいいい方だが  
学校の成績が悪く情けないことに  
1つ下の妹に勉強を教えてもらってる。

はー！

にいちちゃんこんな簡単な  
問題も解けないの？  
やばくない？  
これ中学で習ったやつだよ？

もー  
むちゅ♡  
むちゅ♡

# 妹と楽しい 勉強♡

兄の成績を上げたいスマホの新機種を  
買ってもらおうと親に約束したせいで。  
俺なんて激安のスマホ持たされてるのに  
なんで妹だけ…。  
しかしまあ可愛い妹と過ごす時間は  
嫌いじゃない。

そんなわけないって  
こんなむずい中学生が  
解けるかつーの。

くさー  
もー

まじでがんばってよー。  
私のスマホ調子悪くて  
早く買い換えたいんだから。

分かってるけどさあ  
全然テンション  
上がんねえってー。

はーだめだー。  
全然集中できないー。

頑張ったって  
俺は何ももらえないんだし  
やっても意味ないじゃん。

これじゃ不公平だよな。

もー頑張ってよー。

こんなのが  
目の前にチラついてたら  
勉強なんか無理だよなあ……。

私のためだと思って。

お前のおっぱい  
見せてくれたら  
頑張れるかも……。

はあ！？  
何言ってるのよ

いやまじで。

そしたらお前も  
新しいスマホゲット  
できるじゃん

頭おかしいんじゃないの！



頼む！そしたら  
頑張れる気がするんだ！

ああもう！  
わかったわよ！  
仕方ないなあ…。

言っ  
て見る  
もんだ  
な  
うひひひ。

解る！解るぞ！  
スラスラ解けるぜー！

おお！

てか、間違ってたなら  
意味ないからね！

当たってたなら  
もう片方もな！

はいはい…。

どーせ無理に  
決まってるじゃない。

かみそり！！

ぽろん

ぱいん

もー！！

ぽん



しゃーっ

全問正解！

なんでよー！

ほら〜早く早く〜

俺に足りなかったのはこれだったのかもしれない。俺には妹のエロパワーが必要だったのだ！

最高のおっぱい  
最良の回

おっぱい  
おっぱい  
おっぱい

もー最悪…。  
超恥ずかしいんだけど

だがその力は妹のおっぱいを  
みてる時だけだった...

なんでよ!

すまん...

学校の成績は変わらず

下の中くらいだった。

あの状態を持続できるエロが

必要なかもしれない。

さーもつと勉強量  
増やすわよー!

俺に考えがある。

何よ?

はあ!?

おっぱいだけじゃ刺激が  
足りなかったんだよ。  
だから脳に刺激をだな。

俺とセッス  
してくれ!

○ね!!

いやまじでまじで。

お前も新型スマホ  
ゲットしたいんだろ?  
少しは俺にも協力しろよ

ちまよ

俺にはおまえの  
力が必要なんだよ

くっ...

たじ  
たじ

スマ  
スマ

ちよっ

さすがにそれは  
だめだっつ

お  
お  
お

あ  
あ  
あ

おかーさんーん!

ビクッ

ビクッ

あ

あ

♡

ん

あ  
♡

これは成績を上げて  
大事な妹に新型スマホを  
手に入れてもらうためなんだ…。

ただ単に妹とエッチがしたいだけだなんて  
けっしてそんな不埒なこととは  
思っていない…。わけでもない。  
いやむしろずっと前から妹に俺のチン〇を  
入れたかった！そしてそれが今現実に  
なろうとしているっ！

入ったー！ー！ー！ー！ー！  
あああああこれが妹の中かつ  
ちん〇が温かく包まれて  
締め付けられてっ……。

ゴムつけてないけど  
いいよね！兄妹だし  
いいよね！  
この時だけは成績が良くないことに  
感謝した。

快感と同時に俺の脳が  
すごいスピードで活性化  
してるのがわかる！  
これなら絶対いける！

どうしたの……？

…何？

なんだこれは？



何だこの幼稚な問題は！  
こんな簡単なものも  
解けなかったというのか！？

ありえない…

あんたの脳は  
どうなってんのよ！

今なら人生のあらゆる問題でも  
解決できそうなくらいだ。  
目の前の問題なんか  
どうでもよくなってくる。

お兄ちゃんのが  
あそこに出たり  
入ったりしてる…

すぐくえっち

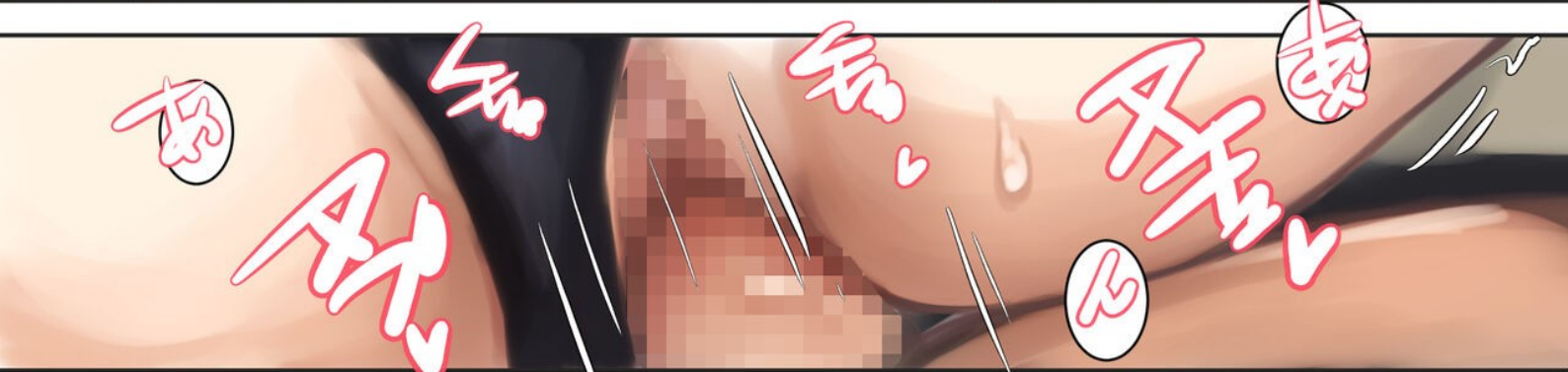




解る!  
こんなの一瞬だ!

あー気持ちいいっ

もうどっちか  
集中してよっ



見てくれ  
え?!

すごい!  
全問正解!

もうちよつとで  
いきそうだったのに...

ワハハッ

てかもう  
下



でるっ！

外に出してよー！

ちよっ外につ

ビッ  
ビッ



ごめん

ごめんてっ

この変態！！

外につて  
いったじゃない！！

ついっ

気持ちよくて

ハッ

まあこの後妹に蹴られ殴られ  
財布の中身も全部持っていかれた。  
親にばらされなかつただけですが。  
その後俺は妹のために勉強した。

そして見事成績は  
軽く上位に食い込んだ。  
全部妹のおかげだ。



もちろん妹は  
新機種スマホを無事  
ゲットした。  
アプリ3万円分の  
カードはお礼で  
つけておいた。

おしまい

俺は週4日姉と妹にえっちな練習をさせられてる。  
2人にはまだ付き合ってる人はいないのだが、いつかできた時のためにと...  
俺は何年か前から相手をさせられてるという具合だ。

ゆうちゃんはやくー  
今日のお姉ちゃんの締めまり具合  
どんなかチェックして

ちなみに悲しいかな俺にも  
彼女はいない...

お兄ちゃん私も私も

も頼むから二人とも  
早く彼氏作ってくれよー

って聞いてないし

早く早くー

とはいうものの  
週4日かわいい方の  
部類ともいえる  
姉と妹とエッチできるのは  
恵まれてるのかもしれない。

あー

あー

あー

まったく姉妹そろってこんな  
エロエロだと逆に彼氏に  
引かれるんじゃないかと心配だ。  
いざという時にこんな経験豊富で  
いいの？

んあ、音立てて  
舐めちゃ恥ずかしい。

お兄ちゃん  
奥まで入れて

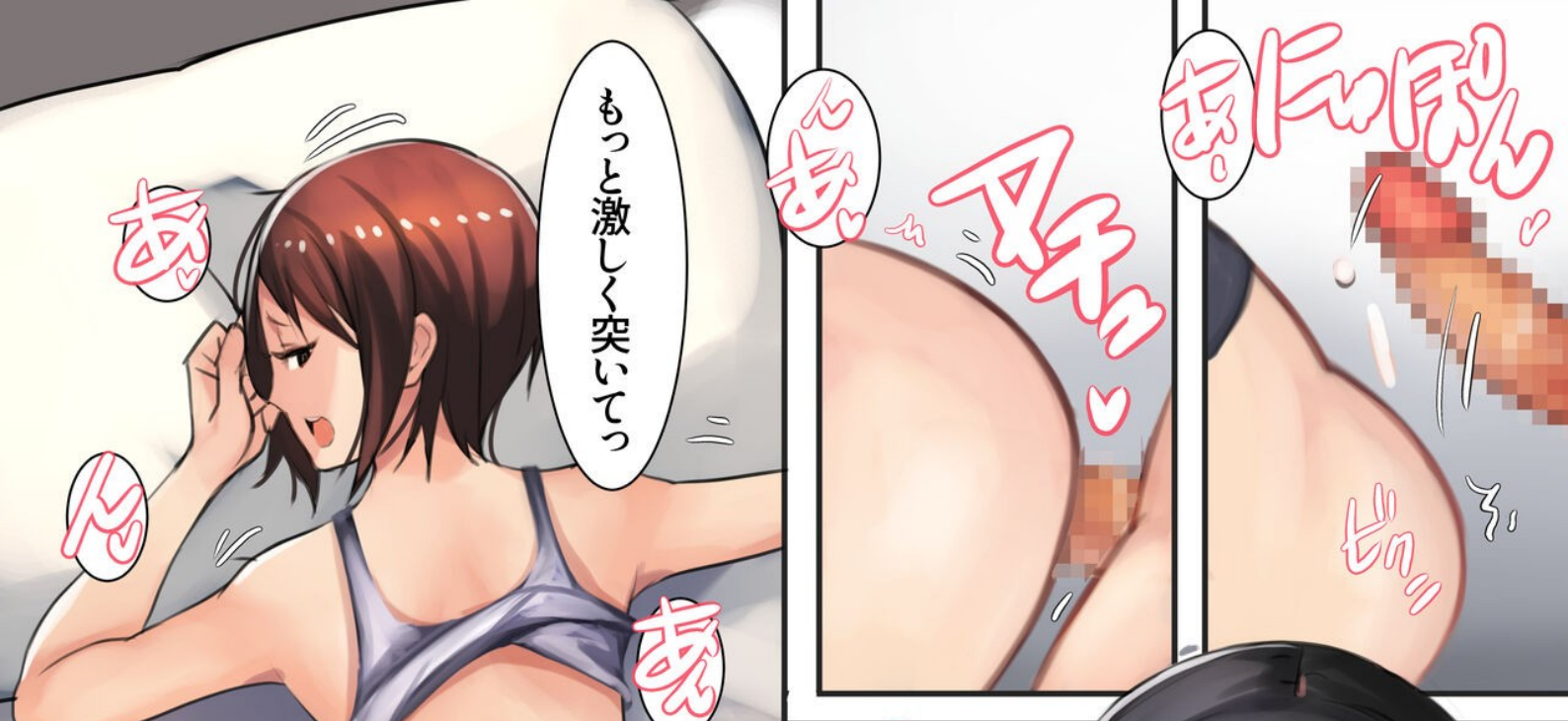
まあ俺には関係ないが。  
2人に彼氏ができるまでいっぱい  
楽しんでおこう。



妹のアソコにチ○コいれながら  
姉のアソコ舐めるってどんな  
気持ち？

気持ちいいっ

最高です



もっと激しく突いてっ

あーん

ん

あーん

あーん

ん

あーん

ん

この光景はいつ見ても飽きない。  
2人の女を支配してる感じ。  
考えただけでゾクゾクする。

ん

ん

ん

ん

ん

ん



お兄ちゃんアレしてー

あつだめっ  
いっちゃんっ！

あたしもっ

俺も！

どっちの穴も  
すづく締まるっ

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん



ふー  
2人とも早く彼氏作りなよー  
これじゃ体がもたないぜー！

先にお風呂入ってくるわー！  
夜にまた相手してやるから！

……

はい。  
いってらー！

んー……

この事実を知ったのは半年後  
俺に無事彼女ができて初エッチの  
翌日だった。  
2人は喜んでくれてお祝いに  
その日はいっぱいサーブしてもらった。  
俺はこの家に生まれてきて幸せだ。

お兄ちゃんも早く  
彼女できるいいね。

ほんとね。

それまで私たちが相手  
してやらないとね。

うん。

バタ

彼氏有

3股

おしまい

がちゃ

ただいまー。

お帰りーお兄ちゃん

ってなんでお前がいるんだよ。  
おまえん家隣だろ。

いいじゃん別にー  
こっち落ち着くんだもん。

# 隣の妹

お婆さんはもう仕事行ったから  
私が留守番して  
あげてるんでしょ

いや、自分の家を守れよ。

こいつは同じマンションの隣に住むユイカ  
3つ下で子供の頃から付き合っていた  
妹みたいな存在だ。  
うちもこいつん家も母子家庭で夜は留守に  
することが多い。

あー言えばはうらうらの  
モチないよー。

だからバイトから帰るとたまに  
こつやって当たり前のように  
くつろいでたりするのだ。



とりあえず風呂  
行ってくるわー!

ほーい。

一緒に入るか?

キモっ!

ちっ。今日は母が夜勤だから  
たっぷりとゲームやエロ動画  
見るつもりだったのにー!

なんなんだよもっ!

俺はバイトでストレスが

溜まってるんだよ!

何かいい方法は…。

はー風呂上がり  
の牛乳はやっぱり  
最高だよなー。お前も飲めば?

私カルピスのんでるし。  
ていうかその年でなに  
おじさんみたいなこと  
言ってる。。。



なんだ急にどうした?

え!!

あ

え

は!!

ちよっお兄ちゃん!?

ポッポッポッ

ポッポッポッ

ポッポッポッ

?

どうした?  
気分でも悪いのか?

牛乳飲むか?

オ

くもく  
ガ

なんかぐらぐらが  
くるーっ

びん  
びん  
びん  
ス  
ス

る

は?

お

い

な  
!

と

どれどれ?

ちよつと熱っぽいん  
じゃないか?

ん

は?



俺がこのまま  
添い寝してやるかから  
ソファで寝るといい。

お兄ちゃんの…  
こんなにおっきいなんて。  
ビンビン…。



わっ

おまっ

あっ

ビクッ

ビクッ

くう

あっ！めんっ

す、すまん牛乳  
こぼしてしまった。

な、なんだこの展開！  
ドン引きして出ていくと思っ  
ていたのこ  
まさか食いついてくるか？  
何考えてんだっ！





そこからもう理性がとんで  
ユイカのことを押し倒していた。  
ずっとたまってたのが1回くらい  
出したくらいで  
収まるわけではない。

さっきまでただの妹みたいな  
存在だったのに、俺はもう  
ユイカのことを完全に  
女として見ていた。

ガ

キ

ハ

キ

キ

おめ♡

ちよっ  
聞いてるー？

はあはあ…。  
すげえいい匂い…。

ス

ス

はいはいはいはい  
おしまいおしまいっ！

スーハ

スーハ

スーハ

だめえ

スーハ

スーハ

多分10分以上嗅いでたと思う。  
ずっとこのままでもいいくらい  
興奮する匂いだった。

いやすまん無理っ。  
お前の体エロすぎて俺もう……

やだあ

ちよーっ  
お兄ちゃん

そこダメっ  
汚いってバカっ



ああああ最高…。舌のお○んこの  
感触味わいつつ、ユイカのリアルな  
喘ぎ声が聞こえるのがたまらない。

っっっっっ…。  
こんなにごエロい顔するのが。

だめえ

やだっ

この表情がさらに愛しさと  
興奮度をアップさせた。

お気に入りのおエロ動画の  
100倍くらい興奮する。  
これを動画で見直したいくらいだ。

ビクン

フッ♡

アッ♡

ちゅっ♡  
ビクッ♡  
!!

おにいちゃん!!

さすがにそれは  
ダメだつてっ!!

ストップ

ストップ

ん♡

フッ♡

アッ♡

あ♡



くはっ、先っぽだけでも  
気持ちいい...

やめーっ！

お兄ちゃん、私たち  
兄妹なのよ！ダメだって



.....

いや、違うだろ。

た

.....

ひ

そうだった...



でもやっぱりダメー！

んざい

もうー

にがさんぞー

あー

んー

くろ

あ

ア

ア

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん



やばっあったけえ〜

びしょ

ぐわ



うそっお兄ちゃんのが入ってる…

なんか…すごい…

気持ちいいかも…



すごいめちゃんこちゃ気持ちいいんだけど。

こいつとてこんななに体の相性がいいなんて…なんでもっと早くやらなかつたんだ…

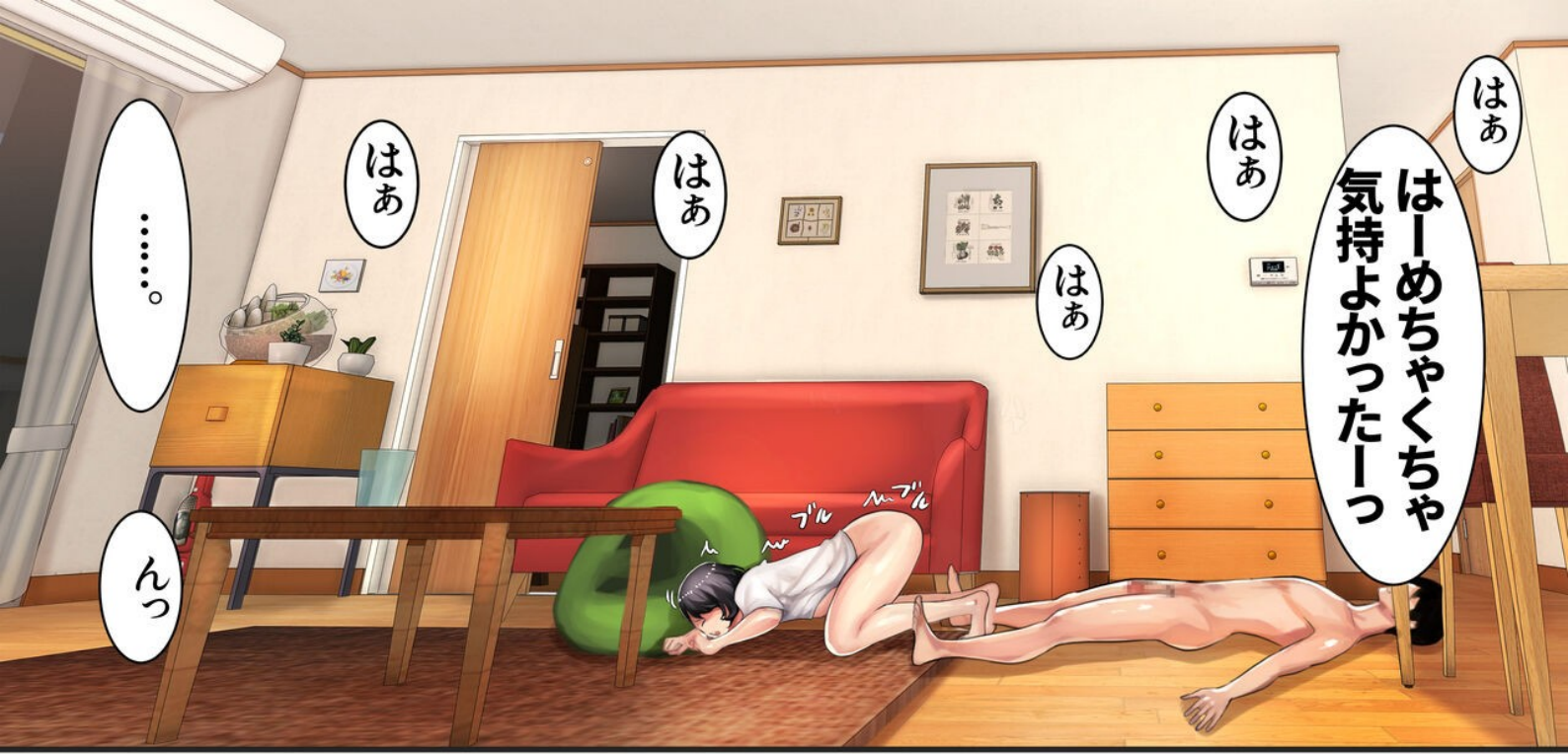




…最高に気持ちよかった…。  
中へ出せなかったのが残念だが  
生でできたし、目の前のお尻が  
エロすぎてほぼ満足だ。

俺はもう完全に好きになってしまっていた。  
小さな後姿が余計に愛おしくさせた。





はあ

はーめちやくちや  
気持よかったーっ

はあ

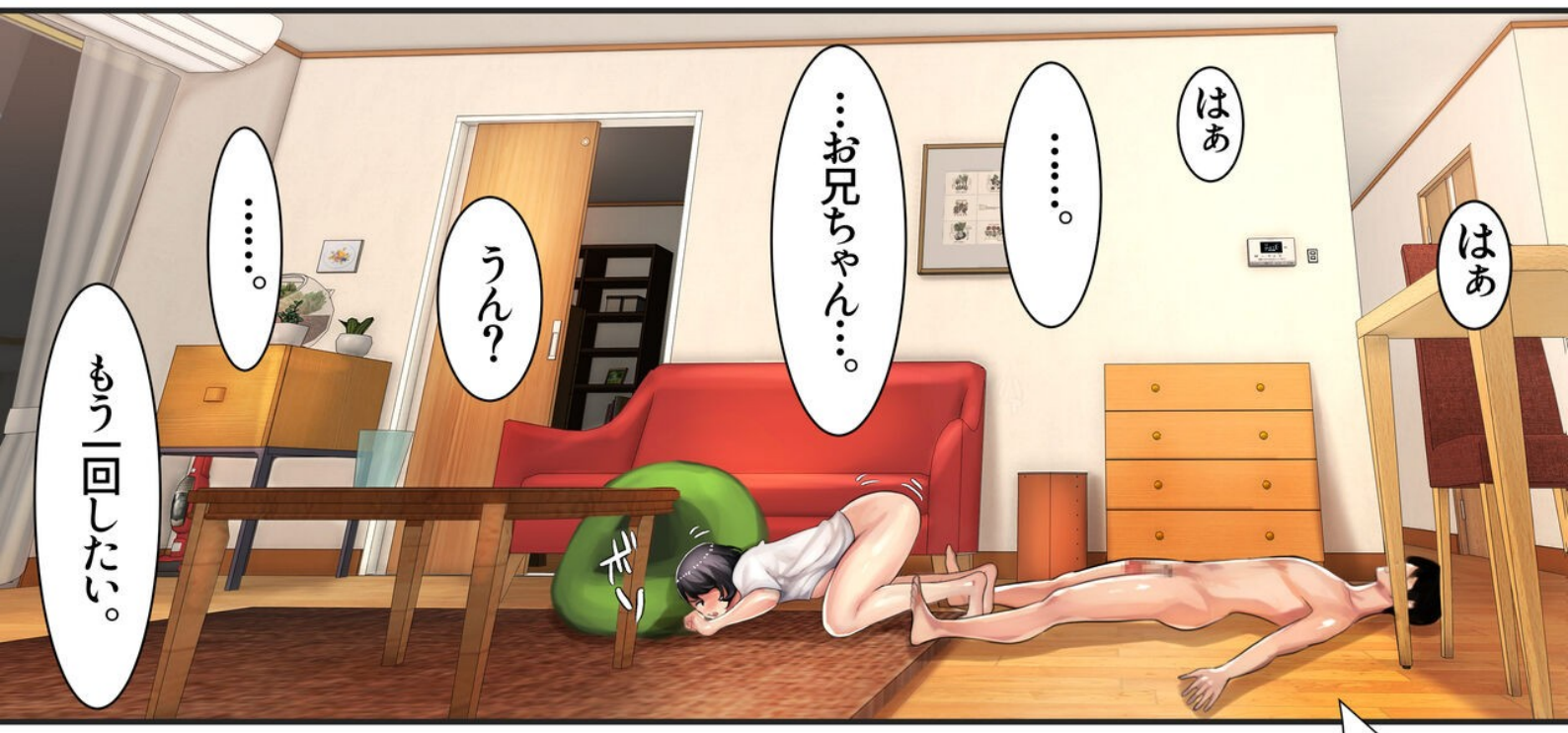
はあ

はあ

はあ

.....

んっ



はあ

はあ

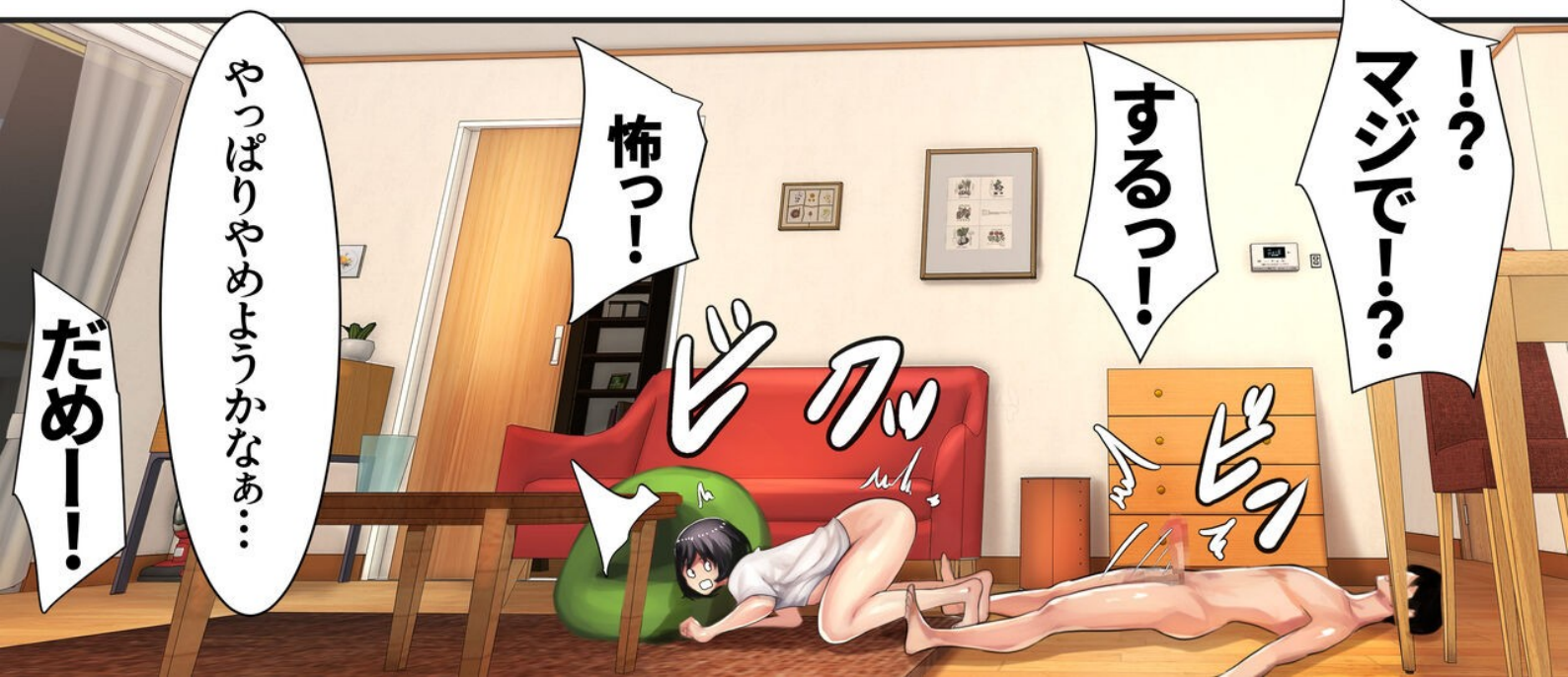
.....

...お兄ちゃん...

うん?

.....

もう一回したい。



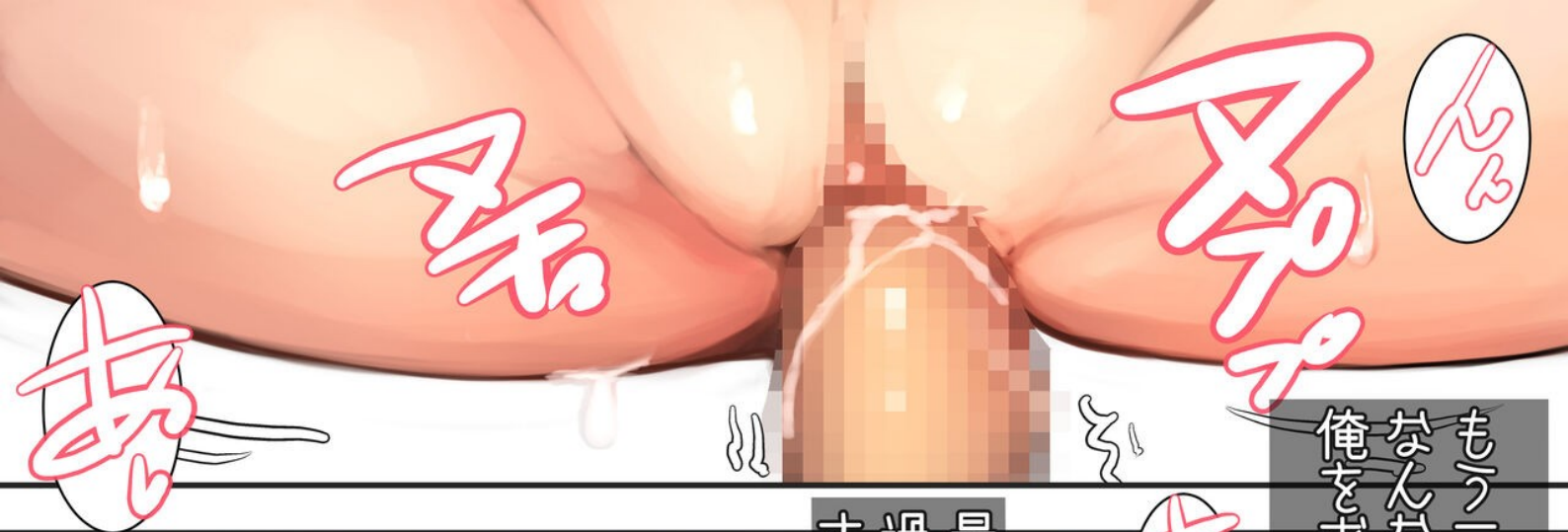
!?  
マジでー!?

するっ!

怖っ!

やっぱりやめようかなあ...

だめー!



もう二回と言わず何度もした。  
なんならユイカの方が積極的に  
俺を求めてくるまゝになっていた。

最高に幸せな時間を  
過ごしていて時間が経つのを  
すっかり忘れていた。



俺も。お前のおっぱいも  
表情も見れるの好き

んっこの体位好きかも

!!

ただいまー。

おかえりーおばさん。

エイカちゃんお母さん  
帰ってきてるみたいよ。  
心配するから顔見せておいで。

はい

あら？タカシは？

あ、母さん  
おかえり。

いるじゃない。

アイス買ってきたから  
二人で食べなさい。

わーい

ほーい

母さん汗かいたから  
お風呂するわーい。

はーゆっくり湯船にでも  
浸かってみようかしら。

……。



お兄ちゃん、ちよつ

大丈夫、聞こえんって

おばさんいるじゃん

おは!

あー♡

だつて...んっ  
気持ちいいんだもん

バカツ  
声大きいって



あー♡

あー♡

あー♡

チクシヨ。こいつのマンコ  
綺麗だし締まりいいし



俺

お前のことが...

いいとこしか  
ねえじゃねえか!

あー♡

あー♡

あー♡



好きだよ!!

ビュン

ビュン

ビュン

ビュン



私も大好きよ!

!!

ビュン

ビュン



てか服着ろー!!

ビュン

この日から俺たちは付き合いはじめの翌年めでたくゴールインした。



おしまい

何ゾロゾロみてんのよ

恥ずかしいから  
早く座ってよ…。

ほら早くお兄ちゃん。  
一緒にアニメ見よ。

ハニ  
ハニ

もう一話一緒に見ようよー

え？

Tシャツ脱いたら  
考えるって？

もー。  
お兄ちゃんのエッチ。

しょうがないなーもー。

ほら。

これでどうでしょう？

座って。

はやくー。

ほら早く早くー。  
次始まっちゃうからー。  
一人で見てもつままないじゃん

はー面白かったねー！

また一緒に見ようね。  
お兄ちゃん。

え？

今度は裸になってくれたら  
見てあげるって？

はいはい。恥ずかしいから  
夜ならいいよ。  
次見るアニメ決めとくねー！

はー今回も面白かったねー。

ね。  
次は何見よっか？

え？

エッチしてくれたら  
みてやってもいいって？

調子にのんな！

おしまい



はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

んん♡

おまけ♡

お兄ちゃんまたアニメ見ながら  
エッチしようね♡